

令和5年度能登半島地震被災地派遣合同研修会プログラム

- 1 目的 徳島県及び香川県が経験した令和6年能登半島地震被災地派遣の状況や学びを共有し、南海トラフ地震等今後の有事を見据えた県及び市町の健康危機管理体制における役割を考えることができる。
- 2 主催 徳島県・香川県
- 3 日時 令和6年3月18日（月）13時00分～15時45分
- 4 場所 ハイブリッド開催（集合研修及びオンライン研修）
集合研修会場：香川県庁本館12階第1・2会議室
- 5 対象 県及び市町保健師及び事務職等職員
- 6 内容

12:30～13:00	受付
13:00～13:10	【開会】 香川県健康福祉部 部長 木村士郎 徳島県保健福祉部 副部長 梅田弥生
13:10～13:30（20分）	【報告1】徳島県 「輪島市避難所活動」
13:30～13:50（20分）	【報告2】徳島県 「輪島市家庭訪問活動」
13:50～14:10（20分）	【報告3】徳島県 「DHEAT活動」
14:10～14:25（15分）	【報告4】香川県 「金沢市1.5次避難所活動」
14:25～14:35（10分）	質疑応答
14:35～14:45（10分）	休憩
14:45～15:25（40分）	【グループワーク・発表】 テーマ： 「被災地派遣の学びを今後どのように生かしていくか」 「南海トラフ地震等の災害を見据えた県および市町の健康危機管理体制における役割とは」
15:25～15:40（15分）	【講評】 岡山県立大学保健福祉学部看護学科教授 森永裕美子氏
15:40～15:45	【閉会】 香川県健康福祉部 次長 吉川健司